

仙台インディペンデント・シネマ・フェスティバル

141ビル6F エルパークスタジオホール

とき/96年1月29(月)、30(火)、2月2(金)、3(土)、4(日)

〇さて、こんなに大きくスペースをとってしまいましたが、前号でもお伝え致しましたあのイベントが、いよいよその全貌を明らかにしてまいりました。「ぴあ」とかで見かけても、「東京いく金ないよなー」と諦めていた、あの作品達に、ついにめぐりあえることになるとは！（しかも安く！）

仙台出身の監督の作品や、在仙のカントクの作品も何本か上映される模様です。いやあ、たのしみたのしみ。

<上映作品>

『裸足のピクニック』 (92分・矢口史靖)
『灼熱のドッチボール』 (15分・古厩智之 PFF9275771)
『O×O (0007431/00)』 (22分・風間志織 PFF842828)
『黄昏の秘密』 (52分・橋口亮輔 PFF8975771)
『静かなる叫び』 (93分・小林健太郎)
『走れ』 (29分・古厩智之)
『田舎の法則』 (25分・松岡錠司 PFF12828)
『夕日の秘密』 (52分・橋口亮輔 PFF8975771)

<チケットの種類と料金>

- ①1ブロック=300円
- ②5日間共通券 (但しライブ券は含まれません)
学生1500円
一般2000円
- ③ライブ券
前売2000円
当日2500円
- ④特別招待上映券
前売1200円
当日1500円

※ゲストトークは②、③、④いずれかの券をお持ちになるとご覧になれます。
※30歳高校生無料！ 受付にて学生証をご提示下さい。

●チケット発売場所
12/中より、141ほかもよりのプレイガイドで発売中

●お問い合わせ
くまがい：☎022-214-6858
ライブチケット・サンレイ仙台店：☎022-267-4379

映画が僕らの手の中にある。



インディペンデント・シネマ・フェスティバル
—映画が僕らの手の中にある—

1/29 (月)19:00 ~ ブロックA 青春特集
『吊首高太郎の青春』 (35分・クマガイコウキ)
『日曜日、アパートで』 (10分・斎藤拓生)
『ツキこそものの勝負なれ』 (40分・遠藤喜一郎)
『田舎の法則』 (25分・松岡錠司 PFF12828)

1/30 (火)19:00 ~ ブロックB 高校生特集
『草駟天』 (25分・三木祐豪)
『と・も・だ・ち』 (20分・赤松早苗)
『夕日の秘密』 (52分・橋口亮輔 PFF8975771)

2/2 (金)19:00 ~ ブロックC 女性監督特集
『春風』 (29分・津見枝子)
『おっさん・らぶそてい』 (45分・安田真奈)
『O×O (0007431/00)』 (22分・風間志織 PFF842828)
『カルデラ姫』 (25分・歌川恵子)

2/3 (土)10:30 ~ ブロックD 長編特集
『静かなる叫び』 (93分・小林健太郎)
『笑ってほしいの!』 (125分・石川北二)
『雨女』 (72分・矢口史靖 PFF12828)

16:00 ~ ブロックE 青春特集2
『嵐の休日』 (21分・水戸秀樹)
『灼熱のドッチボール』 (15分・古厩智之 PFF9275771)
『走れ』 (29分・古厩智之)
『ひまわり娘は眠らない』 (50分・梅村真司)

2/4 (日)10:15 ~ 特別招待上映
『裸足のピクニック』 (92分・矢口史靖)
『この窓は君のもの』 (95分・古厩智之)

14:30 ~ 15:30 あがた森魚ミニライブ
16:00 ~ ゲスト・トーク
矢口史靖×古厩智之×あがた森魚
17:00 ~ 特別招待上映
『裸足のピクニック』 (92分・矢口史靖)
『この窓は君のもの』 (95分・古厩智之)

電撃通信

情報ナビオンベルとまつり

1996年1月15日
仙台市文化情報センター9階のホールにて開催。
主催は「仙台ミュージアム」等
参加者は
金本直弥氏、
弓矢自注氏等を
ゲストに迎える。

仙台シネマ倶楽部 月例会
「お早よ」 小津安二郎監督
1月21日(日) 戦後復興記念館4F
11:00, 13:30, 16:00, 18:00 ~

大日本映画上映会
1月7日(日) TAG 店内にて
アマチア作品の上映会
今回は、海外のアマチア特撮作品も
登場とご報告。

くまいは、222-6096 (PM6:00~)
TAG・千田 さままで。

イラスフィルム・クリスマス
1995.12.24(日) PM8:00~3
ニッパ公園 ケーラ上映会
今年はおもしろいぞ。
シネマ 冬のまじ。可ぞす。



<解説>

〇えー、凄い作品がこんなに目白押しで、しかも自分は殆ど見てないので、いろんな情報誌から解説丸写しするしかない訳ですが、「裸足のピクニック」は、絶対お薦め！次から次へと起きるトラブルに、姿勢は前向きだけど気持ちはずるずるに揺られて行く女のこの姿が、なんともそそります。となれば、その前に撮った『雨女』も気になる所。勿論、そうなればあの『二十歳の微熱』の橋口監督の『夕日の秘密』は見とかないと。おお？それでは仙台の作品はどうなるんだ？ シネサラダの『ひまわり娘は眠らない』って、タイトル聞いただけでもそそるじゃないですか！ 仙台発劇場映画『大感傷仮面』を監督し、現在演劇の演出など積極的に活動しているクマガイコウキ監督のPFF入選作品というのも気になって仕方ないし、私も変な映画ばかり作ってないでしっかり見て 勉強しなきゃ。(岸浪)